２０２６年１１月１２日（木）

老球の細道９５２号

人生はジグザグ、アップダウン

会津バスケットボール協会　　室　井　冨　仁

アメリカでは中間選挙が終わり、共和党が破れ、民主党が大躍進した。世界のトランプジョーカーに民主主義の国アメリカがようやく目覚めたかとホッとした。本気で言っているのかジョークで言っているのかわからないが、あれだけ露骨に自分を自慢し、嘘八百を平気で言える人間が大国のリーダーになれるのがどうしても納得できなかった。米国の政権は共和党、民主党のジグザグ歴史である。

「ジグザグ」とは英語辞書によると「Z 字の形で左右交互に鋭角に折れ曲がった道路」と記されている。このことからバスケットボールのデイフェンスのフットワークドリルにおいて「ジグザグドリル」というのがある。古典的なドリルであるが、今でも多くのコーチが採用している。私はデイフェンスのファンダメンタル指導においては「ミラードリル」と「ジグザグドリル」を必ず使用する。先日も中学生のクリニックでジグザグドリルを使いながら、「声」「フットワーク」「ハンドワーク」の基本練習を徹底させた。

ドリルを指導しながら、なぜか昔読んだ本の中に記された『ジグザグ賛歌』なる詩を思い出した。４０代の若かりし頃、私の燃える指導が空回りし、選手やクラスの生徒に受け入れられない情けなさで自己嫌悪に陥っていた頃に読んだものである。今は多少、年をとったせいか、人生、物事はあっちへ行ったりこっちへ行ったりのジグザグ模様、上がったり下がったりのデコボコ、進んだり後退したりの「３６５歩マーチ🎵」だと達観できるように少しだけなった。

【ジグザグ賛歌　（紙面上詩の配列を変換したことを許されたし）

子どもの発達も　　人生の軌跡も
登っては下り　　進んでは戻る
病んでは癒え　　泣いては笑う
しばし停滞　　急な発展
ジグザグあればこそ　　子どもは鍛えられ　　人の心は豊かとなる
人類の進歩も　　社会の歴史も　　そのジグザグの
紆余さらに長延　　曲折はるか複雑
幾百千万　命かさねて　開く道　子孫に託し
人類は未踏の道を行く
ジグザグ道よ
私を　　私たちを　鍛えておくれ

『挑まぬものに発達なし』近藤薫樹著　労働旬報社】

先日孫の試合を観戦したら以前の消極的姿勢に戻っていた。私の体重も増えたり減ったりのジグザグ。孫と共にジグザグ街道を進む。バスケットは不屈に挑む人間を育てる。